



桜浜の花々

5月。暖かい土佐清水では、早くも夏の気配が感じられる頃になりました。様々な花も咲き、景色を彩っていますね。今月は「とさしみずジオめぐり」をお休みして、花の紹介をしてみたいと思います。私が勤務している「竜串ビジターセンター」は竜串湾のすぐそばにあり、目の前は桜浜海水浴場があります。今回はこの桜浜で春に見られる花を紹介します。

コウボウムギ

この原稿を書いている4月初旬では、ちょうどコウボウムギが見頃を迎えています。足摺岬の七不思議や見残し海岸の名の由来など、弘法大師の逸話が残る土佐清水ですが、実は砂浜の小さな植物にも、その名を冠するものがあります。コウボウムギは砂浜に生育するカヤツリグサ科の植物で、春になると麦に似た穂が出てきます。茎を裂いて筆に利用していたために、その名が付けました。書の名人と言われた弘法大師の筆にちなむとは、なんとも縁起の良い植物です。

ハマニガナ

次に紹介するのはハマニガナ。キク科の植物で、春から秋にかけて黄色い花を咲かせます。この花は面白いことに、葉も茎もなく、花だけがぽつんとあるような見た目をしています。実は、この植物の大部分は地下にあり、長い地下茎を伸ばして隣にある葉や花とつながっているのです。砂をかぶっても葉や花は砂の上に出ず、たくましさもある植物です。そして、このハマニガナは冬には「紅葉」する植物でもあります。常緑の木が多く、秋の彩りは少ない土佐清水でも見られる紅葉ということで、私の密かなお気に入りです。

さて、今回は桜浜で見られる（ちょっと地味な）花たちを紹介してみました。ほかにも、今から秋にかけて、ハマボウフウ、ハマヒルガオ、ハマゴウ、ハマユウなど、さまざまな花を楽しむことができます。来春には牧野富太郎博士が朝ドラの主人公になりますね。皆さんもこの夏は、庭で、畑で、海岸で、いつもより少し腰をかがめて、牧野博士になりきって、草花に親しんでみてはいかがでしょうか。

森口夏季（ジオパーク専門員）



コウボウムギ



ハマヒルガオ



ハマニガナ



ハマユウ



ハマゴウ

桜浜



発行

土佐清水ジオパーク推進協議会 〒787-0450 土佐清水市三崎字今芝 4032-2
TEL 87-9590 MAIL geopark@city.tosashimizu.lg.jp

WEB

